

校地区連携

～ZERO から始める、地域酪農家との牧草地大改造～

富山県立中央農業高等学校

学校と地域農家の連携を深めることを目的とした造語「校地区連携」を新しい取り組みとして実践することとした。

乳牛共進会で館さんと出会い、持参していた牧草ロールの高い完成度に感動したことがきっかけとなった。本校牧草地の調査の結果、大量の雑草が繁茂しており中には毒草も確認できた。近年の餌代高騰の波に悩まされる館さんからは、牧草地更新のための技術指導と農業機械の提供の代わりに、完成した牧草ロールを格安で譲ってもらえないかという条件で合意。

牧草の品種は富山県の気候条件にあわせて耐雪性に優れるイタリアンライグラスの「ゆきつよし」に決定。

除草剤散布、堆肥投入、堆肥散布、耕起を1サイクルとして3サイクル実施後にふかふかになった土は、牧草が育ちやすい土壌へと変化している事が感じられる。播種から現在までに1日当たりおよそ6mmの伸長を確認しており、次年度の1番草刈り取りの時期には緑のじゅうたんが広がっていることが期待できる。